

## 会 議 録

議事録名		部長	課長	企画幹	係長	係	記録
佐久市保健福祉審議会障害者福祉部会							
日 時	令和5年8月21日	場 所	議会棟第2委員会室		時 間	13時30分～15時	
出席者	○委員 廣田典昭部会長、工藤享良委員、小平實委員、 草間信子委員、柳澤四郎委員、黒沢奈々委員、 吉田直美委員 ○事務局 福祉課長、地域福祉係長、障害福祉係長、障害福祉係員				出席委員	7名	
					欠席委員	3名	
					事務局	4名	
提出資料	資料 1-1 第三次佐久市障がい者プラン（骨子案） 資料 1-2 第三次佐久市障がい者プラン策定に係るヒアリング調査結果 資料 1-3 第三次佐久市障がい者プランの策定スケジュール 資料 1-4 第三次佐久市障がい者プラン（骨子案）に係る意見等提出様式						
<b>○次第</b> 1 開会 2 あいさつ 3 会議事項 ・第三次佐久市障がい者プラン（骨子案）について ・その他 4 閉会							
<b>○議事録（意見・質疑応答）</b> <基本目標①「共に支え合い、認め合えるまち」について> 委 員 障がいのある方にとって、情報のバリアフリーが極めて重要。公共的な支援や取組について情報取得する手段として広報紙が最も利用頻度が高い中、分かりやすい言葉遣いや、ルビの使用など、障害のある方に配慮した広報紙づくりを心掛けられたい。  委 員 自閉症は、見た目から分かりづらい障がいであり、それゆえに周囲から理解を得られず孤立する事例も多いと聞く。そういった事例を踏まえた障がいのある方に優しいまちづくりを期待したい。  委 員 県の差別解消条例の進捗や市の施策との関係についてお聞きしたい。 事 務 局 県の共生条例は県域全てを対象としているものであり、当然に市の施策でも踏まえるべきもの。加えて、今年度県の障がい者プランも次期計画を策定中であり、これらも踏まえてプランを策定していきたい。							

<基本目標②「安心して暮らせるまち」について>

委員 障がいのある子どもに関し、かねてから就学前と就学後で支援が途切れる傾向にあると感じる。本計画でも、ライフステージが変わっても切れ目ない支援を講じていく必要がある旨を課題として捉えているので、対応を期待したい。

<基本目標③「いきいきと心豊かに暮らせるまち」について>

委員 ゲートキーパー養成講座について、誰でも受けられるものか、こういった仕組みになっているのか知りたい。

事務局 詳細についてはこの場では説明できないため、担当課に確認して別途回答する。

委員 こういった計画は、ある程度障がいの程度が軽度の方向けの取組が記載される傾向を感じる。重度の方に向けた計画としても機能するよう検討を深めてもらいたい。

委員 昨今、障がい者施設や高齢者施設における虐待の報道を多く目にする。施設従事者に対する啓発の取組は一層重要となっている。

委員 引きこもりについての市の対応状況は。

事務局 引きこもりに代表されるように個人や家庭が抱える課題が複合化する中、これまで分野ごとに展開されてきた福祉施策も包括的な対応ができるよう変化していく必要がある。市では、重層的支援体制の構築に向けて現在検討を深めているところであるが、それにより包括的な支援体制を整える取組を進めていきたい。

委員 スポーツや文化活動への参加促進について計画しているが、自身が行いたいことを言葉にしづらい知的障がい者にとって、その参加のハードルは高く、支援も手薄に感じるので、その具体化を期待したい。

(以上)